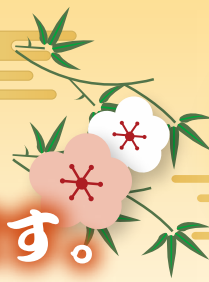




新年あけまして おめでとございます。



明けましておめでとうございます。

本年がみなさまにとって幸多い1年になりますよう祈念しております。

さて、昨年11月より新透析棟の建築が始まりました。

災害に強い免震構造で、160名の同時透析が可能になる予定です。より快適に透析治療を受けていただけるよう、患者様のプライバシーにも配慮したレイアウトとなっております。

2015年1月に完成予定です。

近隣の方には騒音などご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。



運動療法の話 【心臓リハビリテーション】

心臓リハビリテーションには保険が適応されます

心臓リハビリテーションは、以下の病気に保険適応されます。

狭心症、心筋梗塞、冠動脈バイパスや心臓弁膜症などの心臓手術後、PCI(カテーテルによる治療)後、慢性心不全、大血管手術後(動脈瘤など)、閉塞性動脈硬化症。

当院は、心臓リハビリテーションの実施基準を満たしており、リハビリ開始後150日間、健康保険が適応されます。「始めてみようかな」と思ったら、外来受診時など、何時でも気軽にご相談下さい。



病気の話

心房細動 その4【血栓の予防】

血栓の予防は抗凝固薬(血液が固まりにくくする薬)の内服です。以前では唯一ワルファリンという薬の内服のみが有効な治療でした。ワルファリンの効果はいろいろな食品の影響を受けやすく、服用中は納豆が食べられないなどの制限があります。また、血液検査にて血液の固まりやすさを測定して量を調整する必要がある、などの不便さがありましたが、最近ではそれらが不要な新薬が開発されています。血液さらさらの代表であるアスピリンは心房細動での脳梗塞予防効果はありません。

たとえ脳梗塞がおこっても、血管につまった血栓を溶かす薬ができています。ただし発症して時間がたってしまうとこの点滴は使用できませんから早期発見が重要です。笑うと顔半分がゆがむ、両腕を前に上げると片手が下がる、短い文をスムーズに話せないなどの症状がみられたら、すぐに専門病院へ行ってください。患者さん本人は気がつかないこともありますのでこれらのサインに家族の方が注意しておくことが大切です。次回は心房細動自体に対する治療です。

脳梗塞のチェック法

F ace 「イー」と言う

A rm 目をつぶって両腕をあげる

S peech 短い文章を話す

T ime 急いで病院へ

検査の話

心電図 その4【ホルター心電図】

心臓に病気を持つ人が病院の外で不整脈や心臓の発作による症状があっても調べる事はできません。そこで携帯できる心電図であるホルター心電計を用いると日常生活の心電図を記録できます。

胸に電極を貼り小型の記録機(レコーダ)につなげます。服を着てそのまま帰宅して頂き、24時間の心電図を記録します。行動記録カードをお渡しします。行動とその時刻を記入して下さい。また症状がありましたら本体のボタンを押して、その時刻と症状も行動記録カードに記入して下さい。

翌日に病院でホルター心電計を外します。記録機内の24時間心電図を病院でコンピューター解析して不整脈などを調べます。解析には確認作業が必要なため、結果を出すために数日間の時間を頂いています。

心電計に耐水性はありませんので入浴できません。また検査中は電気毛布、低周波のマッサージ器は使用しないで下さい。

次回は心エコー検査です。

